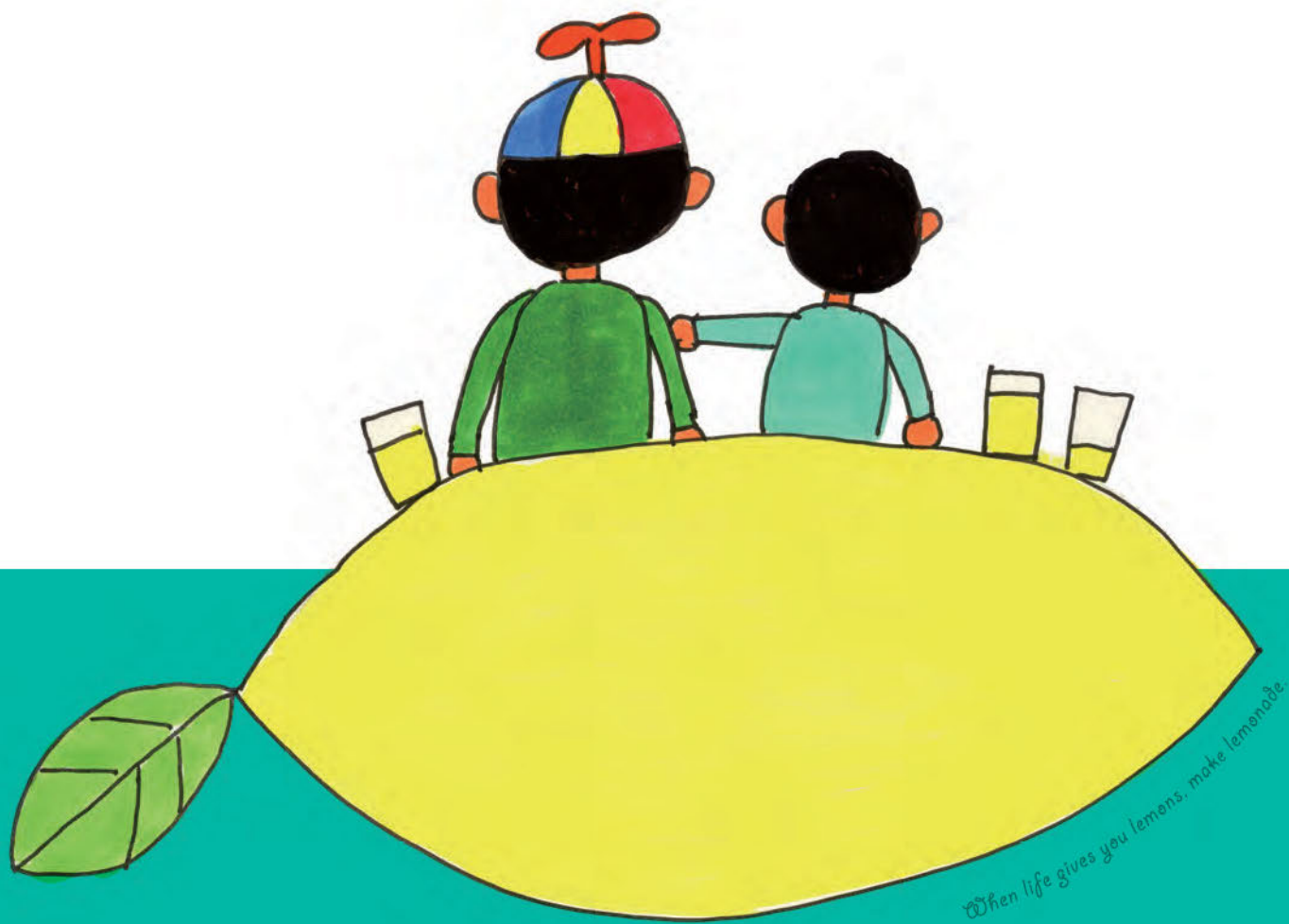


ぼくはレモンがさん

文・絵 えいしましろう



3才のころ「小児がん」になりました。
... ぼくの目標は300才まで生きることです。

【2019年8月30日発売】

ぼくはレモネードやさん

文・絵 えいしま しろう

3才で小児がんになったぼくの、
病院での思い出と日々の暮らし、
同じ病気の子どもたちの話。
ぼくがレモネードスタンドで
レモネードを売る理由、
小児がんについて
みんなに知ってほしいこと。

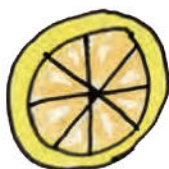


★ えいしま しろう

2007年生まれ。3才の夏に脳腫瘍を発症、2度の手術、放射線治療、化学療法を経て、5才で退院。小学3年生のときに初めてレモネードスタンドを開催。その経験をもとに、「みんなのレモネードの会」を家族と立ち上げ、会長となる。「みんなのレモネードの会」は、小児がんについて広く知ってもらう活動や小児がん支援のためのレモネードスタンド、患児やきょうだい児、家族の交流会などを開催している。

★ 仕様

- ▶ B5判上製（横本）
- ▶ 全40ページ
- ▶ オールカラー
- ▶ 定価（本体1500円＋税）



「しろう君は、友だちの気持ちがとてもよく分かるなあ、と感心しました。小児がんはとても珍しい病気なので、それぞれの友だちの悩みも、なかなか周囲の人には分かってもらえません。でもその仲間たちの悩みを、しろう君は上手に表現して、みんなに伝えています。この絵本をたくさんの方が読んで、小児がんのことを理解してくれるように祈っています。」（さわむら脳神経クリニック 澤村豊）

「この本は、3歳の時に脳腫瘍になり、大変な入院治療を乗り越え、今も治療を受けながら元気に学校生活を送るしろう君の書いた本です。小児がんは20世紀後半によく治りはじめた病気ですが、21世紀の今でも治す方法が見つからない病気や、重い後遺症を起こす病気もあります。治療の開発は続けられており、光のさす日が必ず来ると信じます。」（東京慈恵会医科大学脳神経外科学 柳澤隆昭）

書店番線印

ご注文冊数

ぼくはレモネードやさん

文・絵 えいしま しろう

定価（本体1500円＋税） ISBN 978-4-9909176-5-4



生活の医療社

〒112-0014 東京都文京区関口1-45-15-104

TEL: 03-6820-8371 / FAX: 03-3269-8372

冊